

社会資本総合整備計画

中間評価書

令和06年12月10日

計画の名称	「吉野・熊野・高野の国」の連携による世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」地域の観光地域活性化（重点）															
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		○	
交付対象	三重県															
計画の目標	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている観光資産を活用し、「吉野・高野・熊野の国」事業実施委員会により、両県一体となり観光促進のための社会資本整備を実施することで広域的な交流の促進、観光活性化を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,165	A	1,165	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R5	R6
1	【三重県・和歌山県 共通目標】 観光入込客数1,714万人（H30）から1,885万人（R6）に増加（171万人（10％）の増加）			
	【三重県・和歌山県 共通目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数－H30の年間観光入込客数）／（H30年間観光入込客数）	1714万人	1850万人	1885万人
2	【三重県 単独目標】 観観光入込客数232万人（H30）から255万人（R6）に増加（23万人（10％）の増加）			
	【三重県 単独目標】観光入込客数（東紀州地域） （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数－H30の年間観光入込客数）／（H30の年間観光入込客数）	232万人	250万人	255万人
3	熊野大泊ICから道の駅おくところ（拠点施設）までのアクセスに要する時間の短縮率			
	熊野大泊ICから道の駅おくところ（拠点施設）へのアクセス時間短縮割合 Σ（整備前のアクセス時間－整備後アクセス時間）／Σ（整備前アクセス時間）	0%	0%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（主）七色峡線（瀬戸バ イパス）	バイパス L=0.8km	熊野市	■	■	■	■	■	735		-	
	A11-002	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（主）七色峡線（神川）	現道拡幅 L=0.6km	熊野市	■	■	■	■	■	430		-	
											小計							1,165		
											合計							1,165		

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制 三重県道路建設課において、中間評価を実施	中間評価の実施時期 令和 6 年 1 2 月 公表の方法 三重県ホームページにより公表
--	---

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 基幹事業の整備により、拠点施設へのアクセス時間が短縮され、周遊効率性が増したことにより施設への入込客数が増加に寄与したと考えられるが、新型コロナウイルスの影響もあり、目標達成には至らなかった。 【本事業完成で発現される効果】 ・ A11-002：（主）七色峡線（神川）【一部供用】の整備により、拠点施設「お綱茶屋」から拠点施設「道の駅おくとろ」までのアクセス時間が 1 分短縮され、周遊効率性の向上が図られた。 ・ A11-001：（主）七色峡線（瀬戸バイパス）は、令和 6 年度の供用予定のため、中間評価時においては、効果の発現に至らなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	主要地方道七色峡線（神川）の一部供用箇所において、幅員狭小区間の改善により安全・安心、快適性が向上した。

○ 特記事項（今後の方針等）

各要素事業について、計画的な道路整備を推進し、計画期間内に完成するよう進捗を図り、事業効果の早期発現を目指し、さらなる観光活性化を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【三重県・和歌山県 共通目標】観光入込客数		
	中 間 目標値	1850万人	目標値に対して392万人下回り（-14.9%）目標達成には至らなかった。要因としては、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる一方、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で人流が抑制されたことが考えられる。【三重県・和歌山県】R5 実績値：1,458万人 出典：県ホームページ
	中 間 実績値	1458万人	
2	【三重県 単独目標】観光入込客数（東紀州地域）		
	中 間 目標値	250万人	目標値に対して78万人下回り（-25.9%）目標達成には至らなかった。要因としては、基幹事業により拠点施設へのアクセス時間が短縮され一定の効果発現が認められる一方、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で人流が抑制されたことが考えられる。【三重県】R5実績値：172万人 出典：県ホームページ
	中 間 実績値	172万人	
3	熊野大泊ICから道の駅おくとろ（拠点施設）へのアクセス時間短縮割合		
	中 間 目標値	0%	
	中 間 実績値	0%	